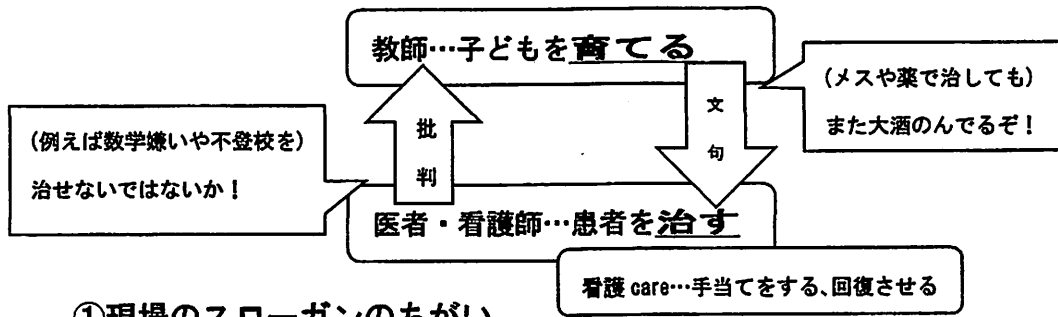


(1) 教育と医療のちがい



①現場のスローガンのちがい

学校教育……「個性を生かす」「生きる力を育てる」(子どもに育つ力)
 病院・施設…「安全推進」「接遇」(医療する側の力や態度)

②養成方法のちがい

教育実習…実習生は「研究授業」：指導案を自分で考える、皆で批評しあう
 臨地実習…研究実習？：担当教員・実地指導者・看護師の指導重視

◎教師にタテつく
 ◎研究教育実習

③ちがいの背景

○教育(ed…、Er…)は引っぱりだすこと。知識・技術を、子どもの個性的理解や個性的発達につなげてこそ、大人や社会も発展するという「共育」論が基底。
 ○医療は患者の治療を優先。適切な指導下で実証成果を的確に施す必要がある。

◎実習：学生の若い感覚や子どもとの新鮮な出会い

(2) 教育と医療の接近

◆めざす学力の接近

学力転換

受験参加の学力 ⇔ 社会参加の学力・生きる力

看護師国試は一般問題と「状況設定問題」に。(1988年報告書)

資料①

全国学力調査は、教科書知識のA問題と「活用型のB問題」で。(文科省07年～)

高校・大学入試に「新しい学力検査」を盛り込め。(中教審08年)

ピサ、シティズンシップ、実践的コミュ. で高校入試は激変する。(ベネッセ09年)

○国際学力調査やその背後にある考え方の影響

(ただし)

○看護師国家試験改善は「質の向上」と「量的充実」

レイブ、ヴェンガー1990年

状況に埋め込まれた学習

(社会で活躍する熟達者の総合的判断力やわざを学ぶ)

2000年～

国際学力調査PISA

2007年～

全国学力調査B問題

資料②

資料③

難解な論述式問題をやめ→4択・5択問題で出題

(記述なしで総合的判断力? 根拠なしの正解は一つで思考力?)

◆教育内容・方法の接近

啓蒙的教育論の反省

脱・**学校教師が無知な市民を啓く**
教師こそ学べ！

- 市民が高学歴化、国際化
- ネット情報が発展
- ➡ 医学情報等に学ぶ共同探究的授業(※)

育てるだけが教育ではない！

- 生きづらさを抱える子どものケアを重視
- ➡ 幼児教育、発達障害等の医学的な研究推進

※教科書を出る調査活動、専門家との出会いに導く探究（環境問題、食物アレルギー、練習のし方）

近代医療論の見直し

脱・**医術（メスの力や薬効）万能**

「成育」現状に学べ！

- 不登校・引きこもり等の学校病理や乳幼児の成育疾患増
- ➡ 思春期問題やライフスタイルの研究推進
- 治すだけが医療ではない！**

- 高齢化と共に生活習慣病、認知症、終末医療等が焦点化
- ➡ 共に歩む医療

- 多様なアレルギー疾患、抗生物質の弊害等
- ➡ 個人の免疫力や生き方を育てる医療(※)

※安保徹「無理をしない。自分に合う生き方を見つけさせる」。(ウェブサイトから)

(3)さらなる接近はあるのか？

阿部の教員養成の変更

○「講義(理論)」「演習(事例)」「実習(実践)」の教育

<疑わしい「前提」>

- ・教育学部生は「教師になりたい」意欲がある。
- ・ " " 「優れた教師」への向上心がある。
- ・ " " 実習を重ねたら自信がつく。

<授業研究・授業づくり研究を核に>

○県をこえて評判の高い**優れた授業**の参観・分析を重視→めざす授業をまなこに焼きつける。**優れた教師**への憧れを育てる。

○学生も情報収集などで協力して、先輩教師と**全く新しい授業の創造**を図る→自信をつける。協力の素晴らしさを知る。

看護師養成の変更

「現場が求める能力の不足」「新卒の離職が多い」

→「学校養成所指定規則」の改正（H20年）

- 「統合分野」の新設（在宅看護論、看護の統合と実践）
- 「専門分野」をⅠとⅡに分ける。☆全てに臨地実習！

千葉大などの対応

- ①新カリキュラム（複数患者受け持ち、夜勤と組み合わせ）
- ②チーム医療の重視（患者情報の共有、役割分担）
- ③基盤実習から統合実習への発展（自己評価）
- ④看護管理の充実（師長、臨床指導者、日勤リーダー、患者の担当看護師に時系列の指導依頼）

疑問Ⅰ 仕事量を増やす・役割分担制で「看護師としての総合的判断力」が育つのか？

疑問Ⅱ このやり方で看護師としてがんばろうとする意欲や優れた看護師への向上心は育つのか？

- ①阿部好策「授業の設計・展開」日本教育方法学会『教育方法学研究ハンドブック』154～157頁、学文社2014年。
- ②日本看護協会『看護行政の足跡 第3部』（PDF資料）
- ③厚生労働省『保健師助産師看護師学校養成所指定規則等の改正について』（PDF資料）
- ④川上裕子他「新カリキュラムに基づく看護学教育に関する報告」『千葉大看護学研究科紀要』第35号2013年。
- ⑤伊藤明子他「基礎看護学における看護技術教育の課題」『奈良看護紀要』奈良県立医科大学2005年。

次の文を読み106～108の問いに答えよ。

Aくん(12歳、男子)は、5歳で気管支喘息と診断され、抗アレルギー薬の服用と副腎皮質ステロイドの吸入をしている。アレルギーはハウスダストである。Aくんは小学3年生までは、年に数回の中発作を起こし入院治療をしていた。その後は、月に1回の外来通院で症状はコントロールされ、入院することはなかった。小学6年生の冬に学校で中発作を起こし、学校に迎えに来た母親とともに救急外来を受診した。

【問題106】 救急外来受診時のAくんの状態で考えられるのはどれか。

1. 呼気の延長はない。

正解 2

気管支喘息では、呼気時に周囲からの圧迫をうけて気道が狭窄するため、呼気は延長する。

2. 坐位になることを好む。

横隔膜を下げて呼吸面積を広げる、起坐位やファウラー一位が安楽な姿勢である。

------(全5択)

次の文を読み94～96の問いに答えよ。

Aさん(78歳、男性)は、78歳の妻と娘の3人で暮らしている。Aさんは、大腸癌と診断され、手術を受けてストーマを造設した。その後、再発し、治療を行ったが効果がなく、在宅で緩和ケアを行うことになった。Aさんは腹部の癌性疼痛を訴え、オキシコドン塩酸塩徐放錠を1日2回内服している。Aさんは食べたいときに食べたいものを少量ずつ食べているが、摂取量が減少してきている。妻は腰痛があり、娘は日中、仕事に出ている。

【問題94】 Aさんは退院後、訪問看護を利用することになった。病棟看護師による家族への退院指導の内容で最も適切なのはどれか。

1. 食事摂取量を継続的に観察する。

正解 1

食事摂取量が減少してきているので、継続的に観察する必要がある。

2. ストーマを造ったので便秘の心配はない。

ストーマを造っても便秘は起こりえる。

------(全4択)

平成25年度 国語B問題(小6)

花火大会について、さまざまな要点を考慮しながら「編集会議」のあり方を考えさせる。

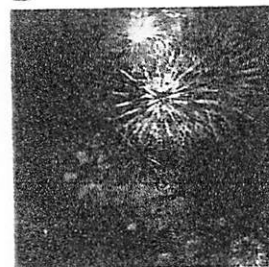
資料③

【リーフレットの表紙】

打ち上げ花火の伝統

打ち上げ花火は、いつから人々の目を楽しませてきたのでしょうか。また、花火師たちはどのような種類の打ち上げ花火を作り出してきたのでしょうか。

そして、打ち上げ花火の伝統を守るために花火師たちはどのような苦勞をしているのでしょうか。



6年1組 ・ 今村 ・ 西村
・ 町田 ・ 山下

※リーフレットとは、一枚の紙を折りたたんだものなどに、文章と絵や写真、図表、グラフなどを使って伝えたい内容を分かりやすく説明したものです。

2 今村さんの学級では、グループごとに日本の伝統と文化について調べ、リーフレットにまとめています。今村さんたちのグループでは、「打ち上げ花火の伝統」について分擔して調べ、次の「下書きの一部」を書きました。そして、グループで「編集会議」を開いたときに出された意見をもとに書き直しています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

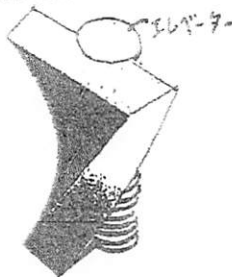
資料②

PISA
2003年

問題例: 2003年、数学

コンピューターで現代建築風な「ねじれたビル」を考える。1階は店舗用にして、上に20階のマンションをつくる。

全体の高さを見積もりなさい。



済生会吹田病院 看護部 研修体制

臨床実践能力の段階別到達目標



基本的な知識・技術・態度を習得し、
正確で安全な看護を実践できる。



受持ち患者の個別性を踏まえた問題解決ができ、
適切な看護実践ができる。



受持ち患者以外の看護計画に対しても積極的な関わりができる。
リーダーシップを発揮し、後輩や学生に指導的役割を担うことができる。



部署において円滑な業務が遂行できるよう、役割を果たすことができる。
キャリア開発について方向性を持つことができる。



医療チームメンバーの中で調整的役割を担い、看護師長を補佐することができる。
部署の業務に精通し、ケア管理においてメンバーに指導・支援できる。

